

Fusyo Collaboration letter

1月8日 No.38 文責 廣田 秀俊



公の意識を育み ともに歩む新しい一年に向けて

12月18日の歌声発表会では、児童一人ひとりの表現する熱意が、会場の隅々まで響き渡っていました。この情熱や意欲は、この日だけのものではなく、日々の生活の中で抱いてきた思いや努力が積み重なった結果であると感じています。



12月19日の放送による全校集会では、生活担当の先生より、8月からの4ヶ月の成長を伝えてもらいました。本校が常に大切にしている「公の意識」―「誰のために」「何のために」「どんなよさにつながるのか」を改めて振り返る、よい機会となりました。

学校では、三つの取組を柱として日々の生活を大切にしています。あいさつに気持ちが込められているか、返されることで嬉しさを感じられる行動ができているか。掃除には、どのような場面でも一生懸命に取り組んでいるか。チームや学年での協力が、集団の力として根付いているか。さらに、はきものをそろえることを意識することで、自分のため、相手のためとなる行動につながっているか。これらの取組を通して、自分の目標を意識しながら行動し、自身の成長を振り返る姿勢が、着実に身についていると感じています。

このように公の意識を高めていくことは、学校の中だけでなく、誰にも見られていない場面においても、誰かのために努力し続ける児童の思いや行動へとつながっていきます。そして、その積み重ねが一人ひとりの生活をよりよいものにし、みんなの幸せへと広がっていくのだと思います。



2026年、新しい年の幕が開きました。今の学年で過ごす残り3ヶ月を、さらに充実した日々とするために、すでに児童たちは動き始めています。自分の得意を伸ばそうとしている子、時間を見つけて行動を起こす子、課題に目を向け次の一步を考える子。それぞれの目標が実を結ぶよう、教師もまた、児童とともに学び、ともに活動したいと考えています。

私自身も、誠実に意味を共有し、納得して行動する一年に、謙虚に聴き合い対話を通して前に進む一年に、そして深く問い、本質を大切に一年にしていこうと考えています。

みなさんとともに、この一年が実り多く素敵な時間となるよう邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

